

政治学科

2012

整理番号 No	科目名 Course Name	学期 Term	配当年次・単位 Student Year(s)・Credit(s)	担当教員 Professor
106	政治学演習 (河野勝)	通年	3年以上：4単位	河野 勝 政政・経演・国演

副 題
Subtitle

現代日本政治の諸問題

授業概要
Course Description

日本の政治を政治学的に考察する。往々にして、現代の日本政治を語る語り口は、評論的でジャーナリスティックになりがちになるが、本演習では理論やモデルをふまえて、政治学的分析の題材として日本政治の諸相をとらえることを心がける。

実際にどのような問題を扱うかは、参加する学生諸君の関心にゆだねる。選挙、政党政治から公共政策、防衛・外交に至るまで、広くかたよりのないトピックを数多く扱えることが理想であるが、教官がプレゼンテーションの内容を押しつけることはしない。しかし、その代わりに、自分の関心のある領域について知識を深めようとするのであるから、教官以上に専門的な情報を提供できるよう、熱心な取り組みが期待される。

なお、政治学的に考えるということは政治的に考えるということと全く異なる知的営為である。ひとりよがりのイデオロギーや特定の規範的価値を前面に押し出すのではなく、価値判断をするための経験的知識や考察を積み重ねることが目的であるとの前提で、演習へ参加してもらう。

授業の到達目標
Objectives

自分の力で、データを集め、事例を分析し、オリジナルで説得力のある議論を展開する能力を身につけること。

授業計画
Course Schedule

第1回：イントロダクション
第2回 - 第8回：教科書輪読
第9回 - 第15回：3年生：卒論ブレインストーミング
4年生：卒論 中間発表
第16回：イントロダクション
第17回 - 第23回：3年生：卒論中間発表
4年生：企業・産業・日本経済レポート
第24回 - 第30回：4年生：卒論最終発表

教科書
Textbook(s)

『アクセス 日本政治論』（平野 浩・河野 勝編 日本経済評論社）2011年

参考文献
Reference Book(s)

『制度』（河野 勝、東京大学出版会）2002年
『アクセス』シリーズ各巻（日本経済評論社）

評価方法
Evaluation

	割合(%) Percent(%)	評価基準 Description
試験 Examination(s)	%	
レポート Report(s)	50 %	
平常点評価 Class Participation	50 %	
その他 Other	%	

備考
Note

学生に対する要望：人生に対して真剣であること。自分を大切に、他人を尊重すること。心身ともに健康であること。

関連URL
URLs for References

<http://kohno-seminar.net/>